

# アンケート調査結果報告書

## アンケート調査概要

項目	詳細
調査目的	「人権破壊工場～出張修理サービス～」の読後満足度および世界観に関する調査
調査対象	本作を購入・読了した20代～40代の男性12名
調査期間	2024年5月～2025年6月
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドソーシング
出典元	<a href="https://fkikaku.co.jp/book/zinkakuhakai-syuttyou/">https://fkikaku.co.jp/book/zinkakuhakai-syuttyou/</a>

## 読者感想レビュー詳細

No.	属性	感想内容
1	30代男性	人間の手が一切介在せず、最初から最後まで機械によって一方的に犯される「ザ・機械姦」です。言葉責めや快樂墮ちすらなく、ただ強制的に絶頂させられていく無機質さが私のフェチに刺さりました。
2	20代男性	「物が壊れたら強い衝撃を与えて直す」という昭和のテレビのような理屈で、さらに無慈悲に女の子を壊していくのが最高です。過度な絶頂で命の危険を感じるほどの激しさに、葛藤と興奮を覚えました。
3	40代男性	これまでの製造ラインとは異なり、一度出荷されて誰かの手に渡り、すでになぶられた後の「中古品」を再調教するという設定が素晴らしい。この保証対応という名目の蹂躪に、強い嗜虐心をそそられます。
4	30代男性	相変わらずの鬼畜ぶりですが、広報担当とおぼしきナレーターの軽い口調が、凄惨な場면을悲慘に思わせないという独特の世界観を生み出しています。このサイコパスなナレーションが本当に癖になります。
5	20代男性	暴力的な快樂で徹底的に潰け込んで壊していく……。やはりこのシリーズからしか得られない特殊な栄養があります。機械の構造や作動内容の説明もちゃんとあって、状況が想像しやすいのも良かったです。

6	40代男性	女の子が壊れてしまったことに対し、少々不満げに「電気ショックを与えるかのように敏感な部分を責めまくって意識を取り戻させる」という対応がエグい。完全に人ではなく商品として扱っている冷酷さがたまりません。
7	30代男性	悪の組織が顧客向けに制作した宣伝映像・マニュアルのような構成で、主人公が存在しない客観的な描写が、より狂気を引き立てています。読む人をかなり選びますが、下半身が反応する人にはたまらないシリーズです。
8	20代男性	今回は新しいタイプの商品も紹介されており、世界観がさらに深化している点でも重要な一作だと思います。ページ数が少なめで「もっと読みたい！」というところで終わってしまうので、次回作のボリュームアップに期待です。
9	30代男性	修理という名目でありながら、結局はさらにぶっ壊す気満々なのが面白いです。彼女たちの表情が快楽に染まりきっているのを見て、完全に調教されていると痛感すると同時に「もっとやれ！」と欲求不満を感じます。
10	40代男性	感情やストーリーを排し、ただ対象が物理的・精神的に壊れていく様子を眺めるための作品です。拘束され、抵抗すらできずに強制射精を繰り返させられる姿に、背徳感と圧倒的な興奮が入り混じったカタルシスを感じました。
11	20代男性	3作目にしてとうとう一線を越えた感があります。過激という言葉では収まらない残虐非道な快楽調教ですが、この「斜め上にぶっ飛んだ」感覚が最高です。ハマる人なら絶対にシリーズ買いをオススメします。
12	30代男性	抵抗する余地もなく、ただ快楽の捌け口として機械に処理されていく絶望感。人間の尊厳が文字通り粉碎されていく様子を、高い画力で克明に描き出している本作は、インモラルなジャンルの極北と言えるでしょう。